
Roche ruins Eris

佳月紫華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Rocher ruins Eris

【Nコード】

N8175Q

【作者名】

佳月紫華

【あらすじ】

先祖の記憶を受け継いでいくエリスの民たちは、もう遠く忘れ去られた魔法の時代の記憶を持ちながら、科学の発展した生活を送っていた。

シリーズ ハウメリス紀として『君を喚ぶ声』 完結後に書き始めて行きたいと思っています。

大分遅くなってしまうと思いますが、良かったら読んでください！

01 prologue (前書き)

シリーズ ハウメリス紀『君を喚ぶ声』の完結後に書き始めたいと思っておりますので、しばらく更新はお待ちください。

内容が少し変更になる場合もあります。ご了承ください。

01 prologue

私たちはこの世界で生き残った。この枯渴した大地で魔力も無くしてしまっただけだ。その代わりとなる力を永い時間を世代に繋げながら培ってきた。この荒れ果てた星で生き抜く為に

「どうせならこの記憶も封印してしまえば良かったのに……そうすれば失くしたものを思って嘆くこともなくなるのに」

世代に受け継がれていく先祖たちの記憶は、むしろ呪いでしかなかった。

失くした星の恵みと共に失った魔力の代わりに私たちは、科学を生み出した。科学は私たちの生活を楽にしたけれど、魔法の力に慣れてしまっていた先祖たちには、忌まわしいまやかしの力にしか映らなかったのだろう。いつも失われたハウメリスと自分たちの運命を嘆いていた先祖たちは、発達した科学をもって、自分たちの祖先に、幸せだったころの記憶を受け継いでいくように遺伝子操作してしまう。

もう何世代もの時がたち、いつしか以前の時代は忘れ去られる運命だったのに。私たちは先祖たちの呪われた楔から逃れられないのか……。

01 prologue (後書き)

読んでくださりありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8175q/>

Roche ruins Eris

2011年4月3日12時59分発行